

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 1 学習において、「主体的、対話的で深い学び」を実現するとともに、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する「確かな学力」を育成する。
- 2 生命や人権を尊重し、自然や美しいものに感動する「豊かな心」を育むとともに、たくましく生きるための「健康・体力」を保持増進する。
- 3 これらを通じて、「生きる力」を育む教育活動の充実を図るとともに、生徒の個性を伸ばさせ、社会をリードする人材を育成する。

2 中期的目標

- 1 確かな学力の育成
 - (1) 授業力向上に向けた授業改善を行い、子ども一人ひとりに応じた学力向上への取組を進める。
 - ア 公開授業や研究協議の機会を設け、「主体的・対話的で深い学び」を導入した授業を展開する力を向上させる。
 - イ 学習のICT環境を一層充実させ、ICTを活用した授業に関する研修を充実させる。
 - ウ 正しい学習習慣を身につけるため、年度当初に学習意欲を高める取組、毎学期に生徒に学習・生活習慣を確認する取組、テスト毎に学習計画を作成させる取組などを実施し、学力向上をめざす。
 - エ 英検、学力調査などを活用し、生徒の学力を把握することで一層の学力向上をめざす。
 ※ 「生徒アンケート」において、「学校のさまざまな取り組みで、考える力や自主性をのばすことができる」の項目で、「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える生徒の割合を令和6年度には90%以上にする。(R1:79% R2:85% R3:88%)
- 2 夢と志を持つ生徒の育成に向けた指導計画の確立
 - (1) 分野別学習の充実を図り、高等学校の系列につながる取組を進める。また、6年間を見通した体系的、系統的なキャリア教育を行う。
 - ア 部活動、文化発表会、研修（修学）旅行等において、分野ごとの取組を進める。
 - イ キャリア教育の取組をすすめ、生徒が将来の進路や職業について考える機会を設ける。
 ※ 「生徒アンケート」において、「将来の進路や職業について考えている」の項目で、「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える生徒の割合を令和6年度には70%以上にする。(R1:56% R2:66% R3:63%)
- 3 安心安全で魅力ある学校づくり
 - (1) 生徒の規範意識の醸成し、ルールやマナーを進んで守る生徒集団を育成する。
 - ア 「あいさつをする」「服装を正す」「時間を守る」の三点について、全教職員で指導し、ルールやマナーを進んで守る生徒集団を育成する。
 ※ 「保護者アンケート」において、「学校は生徒がルールを守るように適切な指導をしている」の項目について「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える保護者の割合を令和6年度には95%以上にする。(R1:92% R2:92% R3:92%)
 - (2) 健康や体力を保持する力を育成する。
 - ア 保健委員会や体育委員会の活動・給食指導を通して、健康維持や体力保持について生徒・保護者の意識を高め、適切な判断力を養う。
 - イ 校内の救急体制を整え、けがの防止や疾病予防など安全に対する意識を高めるとともに、熱中症や感染症予防、食物アレルギー対策について指導の充実を図る。
 ※ 「保護者アンケート」において、「学校は健康管理の指導に努めている」の項目について「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える保護者の割合を令和6年度には90%以上にする。(R1:83% R2:80% R3:86%)
 - (3) 生徒・保護者が安全で安心できる教育環境を実現する。
 - ア 生徒や保護者に向けて、学校ホームページや通信などを通し、教育環境に関する情報を発信する。
 - イ 学校カウンセラー等を活用し、個々の生徒の心のケアを図る。
 - ウ 心理テスト等を活用して、その分析結果から、支援の必要な生徒を見逃さず、的確に把握し、いじめ・不登校など未然防止に努める。
 - エ 人権教育を推進し、人への思いやりのある生徒を育成する。
 ※ 「保護者アンケート」において、「学校は人への思いやりや人権を大切にする生徒の育成に努めている」の項目について「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える保護者の割合を令和6年度には90%以上にする。(R1:83% R2:79% R3:87%)
- 4 校務の効率化と働き方改革の推進
 - (1) 学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化し、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。
 - ※ 時間外勤務月80時間以上の職員の割合を令和6年度には10%以下にする。(R3:12%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【保護者による回答】 「学校は雰囲気がよく生徒がいきいきと学校生活を送っている」94%、「学校は、特色ある分野別学習や部活動などの教育活動がある」94%とあり、比較的高いレベルでの肯定的回答となった。本校の特色ある教育活動について概ね、肯定的に受けとめていただいていると推察する。ただし、「学校の授業参観や学校行事に参加して、子どもの様子が把握できている」74%等の項目について課題がある。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者の参観の機会を質・量ともに充実させていきたい。</p> <p>【生徒による回答】 「学校は、特色ある分野別学習や部活動などの教育活動がある」95%、「学校は、生徒の意見や期待に応えようとしている」93%等、比較的高いレベルでの肯定的回答となった。一方で、「日々の学習を通して学力の向上が感じられる」75%である。目標とする評価指数(70%)には達しているが、さらに、学習に対する成果や課題に対して評価する機会を設定するとともに、適切にフィードバックすることが求められる。</p> <p>また、「将来の進路や職業について考えている」73%であり、キャリア教育に対する指導の充実がよりいっそう強く求められる。高等学校と連携したキャリア教育についても、効果を検証しながら検討していきたい。</p>	<p>第1回（令和4年4月28日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高ともに、アクティブラーニング型授業の充実に取り組んでいただきたい。 ・中高一貫教育校の特性を生かし、積極的に中高連携を進めてほしい。 ・ICT環境を整え、教員が積極的にICTを活用する授業展開に取り組んでほしい。 ・常に保護者へのていねいな説明を行い、安心、安全で、開かれたに学校づくりに取り組んでいただきたい。 <p>第2回（令和4年10月31日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫教育の特色を生かして、抜本的な中学校、高等学校の入学選抜システムを構築していただきたい。 ・特色のある学校であり、大阪府への移管後も教育水準が維持できるように、引き続き手厚い支援をお願いしたい。 ・地域に愛される学校をめざし、存在意義の定着と情報発信を進めていただきたい。 <p>第3回（令和5年3月25日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営を行う上で、地域の理解が必要である。地域への社会貢献活動や地域への情報発信をしっかりと行いながら、学校と地域との連携をさらに深めていただきたい。 ・広報活動を工夫しながら、咲くやこの花中学校・高等学校の教育活動に関して、動画を活用したり、オープンスクール等の場を利用したりしてPRすることが重要である。 ・進路に関する情報等、生徒とともに保護者への説明の機会も設けてほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 3 年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成	(1) 授業力向上に向けた授業改善、子ども一人ひとりに応じた学力向上への取組 ア「主体的・対話的で深い学び」を導入した授業を展開	ア 「主体的・対話的で深い学び」を導入した授業を展開する力を向上させるため、公開授業を実施する。	ア 全員、「主体的・対話的で深い学び」の視点を含んだ公開授業(校内研究授業)を年間1回以上実施する。 [R 3 計11回]	・高等学校の教員の参観も得て、計11回実施した。どの授業も教材開発や指導過程等の面で工夫がみられた。(○)
	イ ICT 学習環境の充実	イ 座学においては、すべての授業で ICT を活用した授業を実施する。	イ 座学において ICT を活用した授業を 95%以上にする。[R 3 92%]	・概ねすべての授業で ICT 機器(プロジェクタ、電子黒板、1人1台端末等)が利用されていた[96%]。活用の質やレベルを高めていくことが今後の課題である。(○)
	ウ 生徒に学習・生活にかかわる学力向上の取組	ウ 毎学期、生徒に学習・生活に関する「自己評価表」を作成させる。「学びの型」を配付し目標を共有する、生徒に定期テストや長期休業前に「学習計画表」を作成させる。	ウ 「生徒アンケート」において、「日々の学校生活を通して、正しい学習態度が身につくよう努力している。」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を 75%以上にする。[R 3 71%]	・年度当初、「学びの型(生徒用)」「学びと教への型(教員用)」を教職員で共有した。また、毎学期、学習面や生活面での「振り返り」を行わせ、定期テストや長期休業前には学習計画表を作成させた。生徒アンケートにおいて肯定的回答は 82%であった。今後も、自主的・自立的な学習習慣の育成に取り組んでいきたい。(○)
	エ 英検等を活用した取組	エ 英検、学力調査を活用することで生徒の学力を学校が把握し、保護者懇談等で学力の課題を保護者に示す。	エ 「生徒アンケート」において、「日々の学習を通して学力の向上が感じられる」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を 70%以上にする。[R 3 61%]	・中高一貫校学力推移調査を 2 回実施し、生徒・保護者にその結果を伝えた(第 1 回: 4/28、第 2 回: 9/1)。生徒アンケートにおいて肯定的回答は 75%であった。学力調査の分析と活用をさらに積極的に進めていきたい。(○)
2 夢を志を持つ生徒の育成に向けた指導計画の確立	(1) 分野別学習の充実・系統的なキャリア教育の推進 ア 分野ごとの取組	ア 文化発表会においては全員が、分野別学習と取組の発表を行う。 研修(修学)旅行においては、1日を分野別学習の日とし、大学等で研修を行う。	ア 「生徒アンケート」において、「高校での系列学習につながるよう分野学習に積極的に取り組んでいる」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を 80%以上にする。[R 3 76%]	・文化発表会(10/21)では、各分野についての演技や口頭、展示での発表を実施した。また、研修旅行の 2 日目(5/12)に、各分野の体験活動を実施した。次年度以降も継続して実施していきたいと考える。生徒アンケートにおいて肯定的回答は 86%であった。(○)
	イ 生徒が将来の進路や職業について考える機会の設置	イ 生徒が将来の進路や職業について考える機会を設けるため、高校生や卒業生による進路講話を実施する。	イ 高校生や卒業生による進路講話を 1 回以上実施する。 [R 3 1回]	・中学 3 年生を対象に、3 学期に 1 回、実施した。今後とも、高校生と交流する機会を質・量とも充実させていきたい。(○)

府立咲くやこの花中学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 安心安全で魅力ある学校づくり</p>	<p>(1) 生徒の規範意識の醸成 ア ルールやマナーを進んで守る生徒集団の育成</p> <p>(2) 健康や体力を保持する力の育成 ア 健康維持や体力保持への意識の醸成</p> <p>イ けがの防止・疾病予防</p> <p>(3) 安全で安心できる教育環境の実現 ア 教育環境に関する情報の発信</p> <p>イ 学校カウンセラー等の活用</p> <p>ウ いじめ・不登校など未然防止</p> <p>エ 人権教育の推進</p>	<p>ア 「あいさつをする」「服装を正す」「時間を守る」の三点について、校門指導、中学校集会、学活などを通じて、全教職員で指導する。</p> <p>ア 体力保持への意識を高めるため、保健委員会・体育委員会の活動を通して、健康維持や体力向上の啓発を行う。 給食指導を通して生徒・保護者へ健康維持や適切な判断力を養ための食育を行う。</p> <p>イ 救命救急講習会を実施し、災害発生時の対応及び危機管理の意識を高める。 アレルギー対応について、校内の体制を整え、日々の食材について保護者と確認を行うことで事故防止を図る。</p> <p>ア 学校ホームページを積極的に更新し、生徒や保護者に向けて、教育環境に関する情報を発信する。</p> <p>イ 学校カウンセラーを活用し、特に不登校の生徒に関するケアを充実させる。</p> <p>ウ 支援の必要な生徒を見逃さず、的確に把握し、いじめ・不登校など未然防止に努めるため、心理テストを実施する。</p> <p>エ 中高合同の人権教育研修会を実施する。</p>	<p>ア 「生徒アンケート」において、「学校のルールをすすんで守るように心がけている。」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を85%以上にする。 [R 3 83%]</p> <p>ア 「生徒アンケート」において、「私は、自分の健康管理を心がけている」の項目について「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を70%以上にする。[R 3 67%]</p> <p>イ 救命救急講習会を1回実施する。[R 3 1回]</p> <p>ア 学校ホームページを年100回以上更新する。</p> <p>イ 新たに不登校になる生徒をゼロにする。 [R 3 2人]</p> <p>ウ 心理テストを各学年2回以上実施し、生徒の心の状態の把握に努める。 [R 3 2回]</p> <p>エ 研修会を1回以上実施する。[R 3 1回]</p>	<p>・学級代表が、始業前、定期的に正門前で挨拶運動を実施した。中学校集会、学級活動などを通じて、継続してあいさつの意味や大切さについての講話をしたり、服装点検等の指導を行ったりした。また、授業の開始時等に時間を守る指導を継続して行っている。次年度以降も継続して実施していきたい。生徒アンケートにおいて肯定的回答は86%であった。(○)</p> <p>・保健室より「保健だより」を毎月、発行した。保健委員会、体育委員会では毎月、目標を立てて健康維持や体力向上、授業の受け方等の啓発活動を行った。また、全校生徒を対象に、栄養教諭が給食だよりを発行したり、食育授業を実施したりした。生徒アンケートにおいて肯定的回答は81%であった。(◎)</p> <p>・中高合同の救命救急講習会を1回実施した(7月8日<金>) (○)</p> <p>・現在(1月20日)まで、学校ホームページを410回更新した。平日は毎日、生徒の活躍の様子や学習活動等について家庭や地域に情報発信を行っている。(◎)</p> <p>・S C、S S Wと連携をとり、支援が必要な生徒に関する情報について共有している。本年度は、2名、新たに不登校になっており、今後、保護者や子ども相談センター等とも連携をとり、継続して指導を行っていきたい。(△)</p> <p>・A S S E S S (学校環境適応感尺度)を2回実施し、支援やケアを必要とする生徒のアセスメントを行った。いじめアンケートを1・2学期に1回ずつ計2回実施した。3学期に1回実施した。(○)</p> <p>・中高合同人権研修会(性的マイノリティーについて)を1回実施した(10/31)。(○)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 働き方改革の推進と校務の効率化</p>	<p>(1) 生徒・教職員の健康管理体制を充実</p>	<p>学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化し、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。</p>	<p>時間外勤務月80時間以上の職員数10%以下をめざす。[R 3 12%]</p>	<p>・大阪府から提供されるアラームメールを生かし、当該教職員への健康管理や助言に努めた。毎月、安全衛生委員会を開催し、教職員、生徒の健康管理体制、職場環境について点検した。さらに、学校医の助言をいただきながら、生徒の健康面に関して指導を行った。時間外勤務月80時間以上の職員数は9%であった。(○)</p>